

岩手県支部ニュース No.14

unicef

財団法人 日本ユニセフ協会

2007年2月
【発行】
**(財)日本ユニセフ協会
岩手県支部**

〒020-0180
岩手郡滝沢村土沢220-3 いわて生協本部2F
TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491
e-mail:unicefiwate@snet.coop.or.jp

ユニセフチャリティコンサート2006

「守りたい、子どもの命…子どもの未来」
ユニセフチャリティコンサート2006



▲フィナーレ みんなで合唱 ♪Oh Happy Days

昨年に引き続き、2回目のユニセフチャリティコンサートが12月9日（土）盛岡市都南文化会館キャラホールで開催され、550名の観客を魅了しました。

姥屋敷中学生8名によるハンドベル、キャラホール少年少女合唱団95名、ニンファとブレイズパワー30名と多彩な出演者、ニンファさんの作曲した「ユニセフの歌」も披露されました。ユニセフインフォメーションでは、「ユニセフと地球のともだち」のビデオ上映と、10月13日(財)日本ユニセフ協会のキャラバン隊が訪問した盛岡市立杜陵小学校6年生山田里林さん・三浦晴香さん・小原頌平くんの3名が学習したことを発表しました。

「これまで募金を通じてユニセフの活動に協力してきたつもりだったが、水の大切さ、自分のことだけを考えるだけでなく、相手のことを考えて行動すること、身近なともだちのことを考え行動することが、ユニセフの活動につながると思う」「地球上に住む私たちのまだ見ぬ友達が幸せに暮らせるように、ユニセフの考えを大事にし、行動していきたい」と発表しました。

募金にご協力いただいた方にエッグボブリのプレゼントなど実行委員会・県支部ボランティアのみなさんに支えられ、準備・運営され、ユニセフ募金として、163,495円送金しました。



▲ニンファ 魂のさけび



▲姥屋敷中学校のみなさん



▲杜陵小学校6年生のみなさんと司会者 藤岡美智子さん



▲Thank you～Featuring 相良美香さん

アンケートから

●とても感動しました。
中学生が一生懸命ハンドベルを鳴らしている姿、子どもたちの澄んだ声、ニンファの歌、ゴスペルの楽しさ、どれも全部涙が出そうでした。来年も又きます。（女性 40歳代）

●たくさんのすてきな歌を聞くことができ、大変よかったです。子どもは大切な存在であることを改めて感じました。私にできることは、今をしっかり生き、目の前の子どもたちと主人、生まれてくる子どもをたくさん愛していくことだと思います。自分のstoryを作っていくたいですね。ありがとうございます。（女性 20歳代）

●全体の構成が良かったので、時間があつという間に過ぎました。ユニセフ県支部の方の挨拶で思い出しました。脱脂粉乳飲みました。みんなはまづいと言いますが、牛乳苦手だった私は好きでした。あの時の恩恵にあずかり、今、若い人たちが恩返ししてくれているのだと、また感謝です。（女性 50歳代）



▲クリスマスソング キャラホール少年少女合唱団のみなさん



中・高・大学生のボランティアが大勢参加しました。

ユニセフハンド・イン・ハンド

2006

県内・42会場
723名のボランティア参加
募金額 888,750円



▲イオン盛岡南SC
盛岡市立高校のみなさん



▼チャリティーコンサート
(岩手日報社共催)と募金活動



▲飯岡中学校で校内で実施したハンド・イン・ハンド



▲プラザおでって前 河南中学校・いわて生協のみなさん



▲ベルフ青山 北陵中学校 交代で50名参加しました。

◇声を出すということは問題なかったのですが、一番は雪が降っていたのが大変でした。募金をしてくれる人がいないんじゃないかと最初は不安でした。しかしこそんの人が募金に協力してくださって、うれしくなりました。一時間ちょっとの活動で多くのお金が集まり正直驚きました。私は「参加して本当によかったと思いました。

(プラザおでって前 中学生)



イオン盛岡SC・土浦中学校
盛岡市立高校・県学校生協
のみなさん

unicef

ユニセフ60周年 子どもとともに

ユニセフ（「国際連合児童基金」）は創設60年を迎えました。第二次世界大戦で被災したヨーロッパの子どもたち600万人のために、粉ミルク、食料、衣服、靴などを届けたのが最初。以後、徐々にその対象を広げ、活動の内容も広がりました。今では156の国と地域で活動しています。昔から変わらないのは「子ども最優先」を掲げ、子どもとその周りへの支援を実施していること、そして活動国の政府を巻き込み、国とコミュニティによる「自立」を目指した支援を行っていることです。

1946年



第1回国連総会で設立

- ◇子どものための支援機関
●食料、ミルク、衣類などの支援
●予防接種の展開
●母と子への支援

1950年 大規模保健キャンペーン

- イチゴ酒、マラリア、トラコーマ、ハンセン病などの感染症予防と治療
●栄養プログラム(野菜、穀、魚)の展開
※イチゴ酒は約10年で根絶した。

1960年

発展期=開発のための10年



- ◇子どものための支援機関
●食料、ミルク、衣類などの支援
●予防接種の展開
●母と子への支援

1970年

子どもの生存と発達革命



- GOBI(発育観察、経口補水療法、母乳育児、予防接種)の推進
●「子どもの権利条約」国連で採択

基礎保健サービス

1980年

●コミュニケーションを中心にした総合的な基礎保健サービスを提唱・展開
●「子どもの権利」が認識され始める

1990年

子ども最優先

- 紛争の影響からの保護
●School-in-a-Boxなどの緊急支援の充実
●母乳育児の推進 ●ヨード欠乏症の根絶への努力

●ミレニアム開発目標の中心=子ども

2000年

- 女子教育の促進 ●アドボガシー(政策提言)の推進
●マラリア防止用ネットの配布・普及
●子ども参加の推進 ●HIV/エイズ防止の努力

ユニセフキャラバン

岩手県入り



▲照井崇岩手県教育長とのメッセージ交換
小松澤昌人日本ユニセフ協会学校事業部長

ユニセフキャラバンは1979年国際児童年に開始、全国の学校でユニセフ講座を実施し世界の子どもたちの現状やユニセフの活動に理解を広めるために、7回目の岩手県入りとなりました。

(10月12日)
岩手県知事・岩手県教育長メッセージ交換
教職員対象 ユニセフ研修 36名参加

(10月13日 ユニセフ学習)
盛岡市立杜陵小学校全学年315名
盛岡市立土淵中学校全学年 65名



▲教職員のユニセフ研修



▲杜陵小学校 ネパールの水がめで水くみ体験
…重いよ!女の子の仕事?
～お水を大切に使うようにしたいな



▲土淵中学校 ユニセフが支援している蚊帳
に入ってみる生徒たち
～マラリヤから子どもの命を守る蚊帳～



ユニセフ出前講座

学校や地域で開催
紫波町立星山子どもの家 2006.10.23



ユニセフについて、ビデオを見たり、5歳未満でなくなる子どもの人数が多い国を地図にぬって学びました。

ユニセフ募金贈呈



盛岡レオクラブ
(会長 佐藤杏菜)
2007.1.27
カレンダー展(約4000部)
の益金を岩手県ユネスコ協会、
盛岡ユネスコ協会、岩手県
眼鏡銀行とともに募金をい
ただきました。

▲募金を受け取る向井田郁子
岩手県支部常務理事

ユニセフ募金協力者 2006年4月～2007年1月

岩手県支部にお寄せいただいた募金です。払込用紙の通路欄に岩手県
支部コードK1-030と記入されたもので送金いただいた方々です。

団 体

- 盛岡市立本宮小学校
- 盛岡市立上田小学校
- 盛岡市立月が丘小学校
- 盛岡市立太田東小学校
- 盛岡市立土淵小学校
- 盛岡市立山王小学校
- 盛岡市立桜城小学校
- 盛岡市立北陵中学校
- 盛岡市立飯岡中学校
- 滝沢村立姥屋敷小学校
- 紫波町立古館小学校
- 花巻市立矢沢小学校
- 花巻市立石鳥谷中学校
- 奥州市立東水沢中学校
- 宮古市立花輪中学校
- 久慈市立大川目中学校
- 盛岡農業高校
- ムラサキ保健研究室
- 不来方高校
- 盛岡中央高校
- 大東高校
- 見前タイガース
- 盛岡レオクラブ会長
佐藤杏菜
- (有)かつら 代表 桂勝文
- 岩手県立学校退職教頭会
会長 茂木照夫
- 岩手日報加賀野専売所
- (株)サトー品質保証部

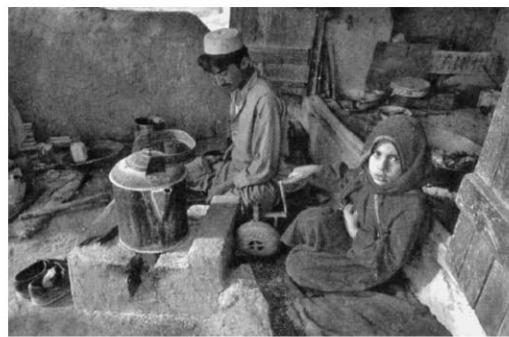
- 日盛会
- (株)日盛ハウシング
代表取締役社長蓮葉渡
- 国際ソロブチミスト花巻
- 立正佼成会盛岡教会
- ボランの広場
- 岩手大学生活協同組合
学生委員会
- 盛岡医療生活協同組合
- 岩手県学校生活協同組合
- いわて生活協同組合
- 遠野市保育協会
- 日本ユニセフ協会
- 日本ユニセフ協会岩手県支部

個 人

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 西村須美子 | 渡辺 勉 | 川島京子 |
| 井上美佐子 | 野口恭子 | 内沢祥子 |
| 守谷祐志 | 小田嶋二郎 | 岩動行雄 |
| 玉川牧子 | 新貝淑子 | 中台照幸 |
| 石坂美智子 | 吉田ヒデ | 佐藤勢子 |
| 田中美千代 | 栗石正男 | 下玉利元一 |
| 高橋誠子 | 阪上浩 | 中軽米伸 |
| 高宮森淳博 | 安藝一 | 清水実 |
| 釜澤稔 | 佐々木郁子 | |
| 鎌田博 | 菅原香 | |
| 菅原いく子 | 佐々木啓之 | |
| 渡辺徳司 | 小川恵子 | |
| 菊地泉 | 及川ゆり子 | (敬称略・順不同) |

店頭にユニセフ募金箱設置を希望される方は、岩手県支部までご連絡ください。（岩手県支部は、日本ユニセフ協会から県内のユニセフ募金業務を委嘱されています）

「世界子供白書2007」



第6回 いわて ユニセフのつどい ～ユニセフと世界の子どもたち～

ユニセフ募金はいつもしているけど・・・という方も参加してみませんか。
楽しくユニセフすごろく！活動交流！
チャリティーコンサートの感動を再びニンファと一緒に歌いませんか！

日 時

2007年3月3日(土) 13:30~16:00

会 場

いわて県民情報交流センター アイーা 8階 803会議室
盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1
※保育室あります

- 「ユニセフと地球の子どもたち」
ネバール支援の最新報告
日本ユニセフ協会 林田 佳子さん
- ワークショップ「ユニセフすごろく」
- ユニセフ活動交流
- ミニコンサート ニンファと歌おう！



- ★ネバールの水がめで水くみ体験もできるよ！
★地雷レプリカ展示・カード＆グッズ販売もあります。

(財)日本ユニセフ協会岩手県支部 設立5周年記念講演
ユニセフinいわて2007

アグネス・チャン大使がやってくる！

みんな地球に 生きるひと

日本ユニセフ協会大使としてアジア・アフリカを視察、子どもたちの様子と平和への思いを熱く語りかけてくれるでしょう。子どもたちへの愛、助け合うことこそが平和への道と。

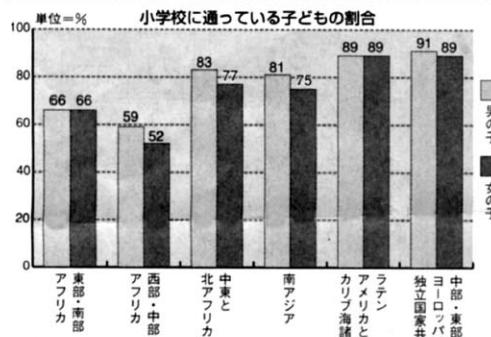


日 時 2007年8月25日(土)
13:30~15:30

会 場 盛岡市民文化会館ホール マリオス5F
盛岡市盛岡駅西通二丁目9-1号 TEL 019-621-5100

入場料 大人… 800円(当日券 1,000円)
小・中・高校… 300円(当日券 500円)

◆チケット発売6月から。お問い合わせは県支部まで。



データは『世界子供白書2007』から

女の子や女性への差別がない世界に

世界中の子どもたちを守る活動をつづけるユニセフ(国連児童基金)が毎年出している「世界子供白書」。

女の子や女性への差別をなくすことが子供たちのしあわせにつながると訴えています。

なぜ？

生活がきびしく、遠い川まで何度も水くみに行ったり、家の仕事をしなければならない。男の子優先。幼いうちに結婚。...

男女平等な社会へユニセフの提案

教育をうけた女の子がお母さんになると子供の命が守れる。子どもや家族によい影響がある。

あなたもユニセフサポーターに 会員になってご支援ください

(財)日本ユニセフ協会岩手県支部では会員を募集しています。

Q 会員ってなあに？

A ユニセフ協力を広げるさまざまな活動を行う日本ユニセフ協会を、会費によって支援します。会員になってニュースレターや資料を入手して理解を深め、世界の子どもの状況やユニセフと日本ユニセフ協会の活動を知り、できる範囲で行動する機会にして下さい。

Q 会員の種類と会費、会員期間は？

A 3種類の会員があります。

- ①一般会員…個人ならどなたでもお申し込みができます。1口 5,000円です。
- ②学生会員…18歳以上の学生が対象です。
1口 2,000円です。
- ③団体会員…団体、法人、企業などが対象です。
1口 100,000円です。

団体会員のみ、毎年4月～翌年3月(事業年度)が会員期間です。
※18歳未満の方は「ユニセフ子どもネット」にご参加下さい。お問合せ、お申し込みは岩手県支部まで。

ユニセフ活動 参加申込書

事務局使用欄 → 受付日

参加希望に□をつけて下さい	(フリガナ) お名前	団体・学校名
<input type="checkbox"/> 第6回いわてユニセフのつどい		
<input type="checkbox"/> アグネス・チャン講演会		
<input type="checkbox"/> ユニセフ会員申込書		
<input type="checkbox"/> ユニセフカード&ギフト		
	住所 〒□□□-□□□	電話番号 () FAX番号 ()

お申し込みは

(財)日本ユニセフ協会
岩手県支部

TEL 019-687-4460
FAX 019-687-4491

〒020-0180
岩手郡滝沢村滝沢字土沢220-3
(いわて生協本部2階)